



発行所 長岡鉄工業青年研究会

発行責任者 小林 史幸

編集責任者 永井 邦幸

編集者

高坂 壮・大塚 淳 史
小根山 俊・倉品 英 行
清水 貴裕・鈴木 敬子

事務局 新潟県長岡市坂之上町2丁目1番1号

長岡商工会議所ビル5F

長岡鉄工業青年研究会

TEL 0258-36-6982

印刷所 (株)北越時報社 長岡市住吉2丁目5番13号

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
二〇一九年度会長 山本友紀



二〇一九年度、長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただく事になりました株式会社山本製作所の山本友紀でございます。一年間、宜しくお願い申し上げます。

当研究会は本年度で設立四十八年目を迎えます。歴代の会長を始め、諸先輩の方々が築き上げて参りました歴史と伝統ある当研究会の会長を務めさせていただく事に改めて身の引き締まる思いでございます。その歴史の重みを背負い、当研究会の更なる発展と成長と言う使命を受け、二年後に訪れる五十周年と言う大きな節目の年に向けバトンを繋いでいくことが私に課せられた要務と考えております。また、新元号に遷する元年度として最初の会長職を務めさせていただけることを心から光栄に思っております。

さて、昨年の日本経済を顧みますと、消費マインドと設備投資の活発化に牽引されたマイナス成長からの軌道回復や、それに伴う一層の設備投資計画の強まりなど、これまでになかった明るい兆しも見られるようになってきている反面、好景気を背景にした資材調達コストの増加や需要逼迫による人材不足問題、今年十月より予定されている消費税の引き上げによる経済の停滞の懸念など、我々中小企業が抱える問題は依然として山積みです。

そのような状況下でも企業は常に前を見

据えて歩を進めて行かなければなりません。そして、新元号に変遷する初年度は当研究会にとって重要な一年になると言えます。

青研の次世代を担う若手人材の養成、会員の大規模な減少による既存・新規事業展開の見直し、周年事業へ向けての準備等、当研究会もまた数多くの問題や課題を抱えております。それらを命題と据え、与えていただいた職責を全うする所存でございます。

一、人材育成事業

「全足前進(ぜんそくぜんしん)」

今年度は直面する様々な問題や課題に対して積極的に事業を展開します。まずその為には会全体で足並みを揃える必要があります。全員の足で歩を進め、一枚岩となって突き進むこと、これこそがこの局面を打破する方法と考え、「全足前進」と言うテーマを掲げました。「前進」の意味合いは様々な捉え方があります。以前と同様に進める前進、新たな事に挑戦する前進、慣例や習慣を刷新する前進、それぞれの委員会において前進の意味を解釈し事業を展開したいと思えます。

また本来の言葉である「全速前進」は全速力で物事に取り組む様を表す言葉となっております。一人ひとりが青研の活動に対して真摯に向き合う事、当研究会の根幹である相互扶助の精神のもと互いに協力しあう事で企業経営に不可欠な志を育み、活動を通じて今後活かせるスキルを身につけます。

二、涉外事業・地域貢献事業・交流事業

今年度も継続して当研究会を外へアピールいたします。昨年度、大学生へ向け

当研究会の企業をPRしたファクトリーツアーの好評を受け、今年度はさらにその歩を進めて我々企業人から学生へ向けたPRイベントを模索しております。

また、地域貢献事業としてOB会員の皆様や趣旨にご賛同いただいた企業様、会員企業のご協力によって行われる「屑鉄集め」を例年と同様に継続して実施いたします。当事業の際にはご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

交流事業として八月一日に開催される長岡まつり平和祭神輿渡御にて、諸先輩方より受け継いだ歴史と伝統ある青研オリジナル神輿をOBの皆様や、参加される担ぎ手の皆様と一緒に担ぎ、長岡の街を勇壮に練り歩くとともに、鉄工青研をアピールいたします。

三、会員増強対策事業

年々問題視されている会員数の減少に対して、改めて会全体の深刻な問題と捉え、積極的な勧誘活動を実施いたします。

現役会員全員が各方面に対して広くアンテナを張り、全員がこの問題に対して真摯に向き合って参ります。青研活動を理解していただける企業への積極的な声掛けを中心に、直接訪問の実施など既存の受け身体質から脱却した能動的な勧誘活動事業を展開します。

以上の事業を柱として当研究会を運営して参ります。既にカウントダウンが始まっている五十周年へ向け更に団結力を高め、「全足前進」で活動を展開いたします。一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
平成三十年年度会長

小林 史幸



平成三十年年度会長

を務めさせて頂いた
きました。株式会社小林製作所の小林史
幸です。当初は期待
と不安がいっぱいで

永い一年になるのだらうなと思っており
ましたが、終えてみると会員の皆様と
ともに充実した時間を過ごせたおかげで
あつという間の一年でありました。

本年度は「発信」という活動テーマの
もとに各事業を行って参りました。各事
業とも会員の試行錯誤によって生み出さ
れた素晴らしい事業であったと思います。
事業等の活動より得た経験や築きあげた
人脈は、実際に今後の企業経営にも活か
されるものと信じております。

私自身も一年間会長を務め、活動を通
して様々な経験をいたしました。この経
験は必ずや自己の成長に繋がったものと
思います。会員の皆様には引き続き会の
活動への積極的な参加をしていただき、
より活発な会になるようご協力をお願い
いたします。

二〇一九年度は山本会長の下、当会は
さらなる飛躍の年になることと思います。
微力ではございますが、私も会員の皆様
とともに新年度の鉄工青研を盛り上げて
行きたいと思っております。

最後になりますが、お世話になりました
各機関や団体の皆様、OB会員の皆様、
そして一年間支えていただきました役員

を始めとした会員の皆様に心より感謝申
し上げます。

本当にありがとうございます。

「未来ビュー長岡」出展

平成三十年七月十二日(木)にアオーレ長
岡アリーナにて、「未来ビュー長岡」と
いう高校生へ向けた進学イベントに地元
企業のブースとして出展をして参りまし
た。高校生のうちから地元企業の知る
機会をつくることで将来的な地元企業へ
の雇用を増やそうという目的のもと活動
して参りました。事前準備を通じて自身
の会社について見詰め直し理解を深める
ことができました。また、日ごろ鉄工業
に接する機会が少ない高校生にどのよう
に伝えたら良いかを考え説明することは、
得難い経験となりました。

多くの高校生は長岡が「鉄工のまち」
「ものづくりの町」ということを知らな
かったと言っておりました。今回のイベ
ントを通じて「ものづくりなら長岡」と



印象に残り、将来的に長岡の鉄工業界へ
の雇用に繋がれば幸いです。

参加会員人数

十二名

展示物による参加会員企業

二十一社

当会ブース来場者数

約四百名

(会場への来場者数 約二千名)

委員会事業報告

総務委員会

委員長 永井 邦幸

平成三十年年度の総務委員会も例年通り
卒業式からスタートいたしました。当年
度は会長方針である「発信」をテーマに
活動する他の委員会を確実にサポートす
るべく円滑な役員会運営と、儀礼的事業
の確実な実施を目的として活動いたしま
した。

総務委員会としての例年の事業である
暑気払い、忘年会、臨時総会、新年会、
定期総会に関しては皆様のご協力を経て
スムーズに実施する事ができました。ま

た、次年度以降も迅速かつ省力的に各事
業を設営できる様、検討書式の作成や記
録や履歴を確認しやすくする様に改善を
いたしました。

反省点としては、ホームページの
更新の失念や事業の写真を撮り忘れた事
等がございますが、それらについては次
年度への引き継ぎを確実にして今後の総
務委員会に活かされる様にいたします。

至らぬ点も多々あったかもしれませんが
が、役員や委員の皆様を始め沢山の方か
らの御助力を経て当年度の事業を完遂す
る事ができました事に厚く御礼申し上げ
ます。私自身としましても大変貴重な経
験となった一年でした。ありがとうございます。

◆卒業式

平成三十年四月十四日(土)、当年度もか
も川別館にて卒業式が行われました。柿



川沿いの桜が咲く中、七名の方がご卒業されました。現役会員も卒業会員の方を囲んで思い出話を花を咲かせておりました。その後の謝恩会でも大いに盛り上がり、現役会員から卒業される会員の皆様に感謝を表すとともに華々しく送り出すことができたのではないかと思います。

御来賓 中越鋳物青年研究会
安藤 啓 太様
御卒業会員 七名

市川 光さん
今枝 龍 哉さん
佐々木 健 司さん
鳥越 太郎さん
福島 正 浩さん
宮下 玲 子さん
山村 誠さん
青研会員 三十六名

(永井 邦幸)

◆納涼会

平成三十年八月二十五日(土)にホテルニューオータニ長岡にて納涼会を行いました。鉄工青研では久しぶりとなるビアガーデンでの納涼会となりました。当日は多くの会員の皆様にご参加いただき、開放的な雰囲気の中で会員同士の親睦をより一層深める事ができました。ご参加ありがとうございました。

青研会員 三十二名

(小根山 俊)

◆忘年会

平成三十年十二月一日(土)に酒味の郷いさり火にて忘年会を行いました。年の瀬の迫る多忙の時期ではありましたが、多くの会員の方にご参加いただきました。

終始和気あいあいとした雰囲気の中、一年間の労を忘れ新たな年への英気を養うことができました。また、会員相互の親睦もより深まり次年度の礎となる結束も高まったものと思います。ご参加ありがとうございました。

青研会員 三十四名

(永井 邦幸)

◆臨時総会・合同新年会

平成三十一年二月一日(金)にホテルニューオータニ長岡にて臨時総会と合同新年会を行いました。臨時総会では次年度の人事や規約改正案について滞りなく決議されました。山本次年度会長の会員増強や会の結束強化にかける決意を感じる事ができました。中越鋳物青年研究会との合同新年会では両会の綿密な連携の基、スムーズに会を進め時間内に終了する事ができました。運営にあたり、多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

臨時総会



出席

三十六名

委任状による出席

五名

オブザーバー参加者

(合計四十二名)

合同新年会

一名

御来賓

六名

鉄工青研歴代会長

十一名

鉄工青研会員

三十四名

中越鋳物青研歴代会長

一名

中越鋳物青研会員

十四名

オブザーバー参加者

一名

(合計六十七名)

(清水 貴裕・大塚 淳史)

◆定期総会・卒業式

平成三十一年四月十三日(土)にかも川別館にて定期総会と卒業式を実施いたしました。

研修委員会

委員長 古川 琢也

本年度の研修委員会では小林会長が掲げた基本方針の「発信」を念頭に置き、「顧客から選ばれる企業となるために、

何を発信するべきか」を目標に、学び・考える事業を委員と共に一年間行っていました。

展示会・インターネットなど様々な情報が溢れる中、相手から選ばれる企業となるために、どのような情報をどういった手段で発信するべきか。また、労働力人口の減少・働き方改革・外国人労働者受け入れ拡大など、職場環境が今後大きく変わっていく中、各企業の取り組みなど学ぶ機会として、研修委員会では二件の事業を企画・実施いたしました。

六月に「顧客から選ばれる企業となるために、何を発信するべきか」と題して、株式会社エスト・コミュニケーションズの弓削徹様より、相手から選ばれるために己の強みを知り、それをどう発信するか学ぶことを目的とした講演会を開催しました。

十月の「研修旅行」では、株式会社玉造 館林事業所、株式会社渡辺製作所へ企業訪問をさせていただきました。各社が行っている取り組みを学び、普段は見ることのできない現場など見学させていただき、大変貴重な体験ができたかと思えます。

各事業とも沢山の青研会員よりご参加いただき、企画したものとして達成感のある充実した事業となりました。改めて、感謝申し上げます。

最後になりますが、研修委員長として一年間無事に務める事ができたのも、研修委員会のご協力と皆様方のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

◆講演会

平成三十年六月二十九日(金)、まちなか



キャンパスにて『顧客から選ばれる企業となるために、何を発信するべきか』と題し、講師に株式会社エスト・コミュニケーションズ代表取締役弓削徹様よりご講演をいただきました。当日は多くの皆様からご参加いただくことができました。講演会では、自社の強みやウリを間違えていない物や、発想の視点を変えることで成功した例など、わかりやすくご講話いただきました。技術展や展示会などに出版されている会員企業もおられますので、改めて自社の強みやウリを考えるよい機会になったのではないかと思います。今年度の活動方針の「発信」をテーマに、相手から選ばれるために己（自分・自社・自社商品）の強みを知り、それをどの様に発信しビジネス展開を行うかなど、参考に成る良い機会になった。

株式会社玉造では、厚板の溶断・レーザー切断の現場を見学し、作業現場の環境改善や生産管理・受注方式などを聞かせていただきました。現場ではヘルメットや保護メガネは当然のこと、脛あてなどプロテクターをつける等もしており安全対策への意識の高さがうかがえました。株式会社渡辺製作所では、会社を続ける上での考え方や現在行っている取り組み等を聞き、製品生産工程（金型製作・



今回の企業訪問では株式会社玉造 館林事業所と株式会社渡辺製作所の見学を行いました。

◆研修旅行

ではないかと思えます。当日はご多忙の中、皆様からご協力を賜り、ご参加いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

参加者 セミナー 二十四名
懇親会 二十五名
(皆川 政男)

プレス加工・プラ成型・組立・検査)を見学させていただきました。製品の組立装置に興味を持ち、作業者へ質問などしながら、装置を覗き込み注意深く観察している姿が、とても印象的でした。両社とも、普段は見学させていたくない現場など隅々まで見学させていただきました。大変貴重な体験ができたかと思えます。

今回の研修旅行を通じて「会員の相互扶助」の精神に基づき、会員の親睦を深めることが出来たと思います。

最後に、ご多忙の中多数の方々に参加していただきまして、心より深く御礼申し上げます。

参加者 会員十八名
旅行日程
平成三十年十月二十六日(金) 二十七日(土)
(田中 祐樹)



実行委員会

委員長 南 聡史

今年度の実行委員会は、四つの事業を行いました。

卒業生追い出しゴルフコンペは、青研最後の事業となる卒業生と現役会員とが楽しい時間を過ごし、表彰式ではこれからの青研の事や、今までの思い出話に花を咲かせていました。

リフレッシュイベントのファミリーバーベキューは天候に恵まれ、絶好のバーベキュー日和となりました。イチゴジャム作り体験やバーベキューでも子ども達の笑顔が見られ、日頃支えていただいているご家族にリフレッシュしていただけたのではないかと思います。

屑鉄集めでは、多くの企業様から屑鉄のご協力をいただき、沢山の浄財が集まりました。計画段階ではトラック数の心配もありましたが、当日は会員の皆様から多くのトラックを提供していただき、無事に屑鉄集めを行う事ができました。そして、十二月に福祉・児童養護施設へプレゼントを贈呈して参りました。提供いただいた屑鉄が、必要とされる物品へと換わり、施設の方々の笑顔へとなる、大変素晴らしい事業だと改めて実感いたしました。

秋季ゴルフコンペでは、久々の秋開催という事で参加人数の不安もありましたが、多くのOB会員と現役会員から参加いただき、終始和やかな雰囲気でお楽しみいただきました。数少ないOBとの交流が図れる事業ですので、今後も継続していただけたらと思います。

最後に委員長として一年間やり遂げられたのも、小林会長、両副会長、委員の皆様のご指導・ご協力のお陰です。誠にありがとうございました。

◆卒業生追い出しゴルフコンペ

平成三十年四月二十八日(土)に、柏崎カントリークラブにて卒業生追い出しゴルフコンペを実施いたしました。

当日は天候にも恵まれ、卒業生はコンペ四名・表彰式五名と御参加をいただき、現役会員はコンペ十五名・表彰式十九名と多くの御参加をいただきました。そして、ゴルフ・表彰式を通して卒業生の皆様と最後の事業として楽しい思い出ができ、気持ち良く送り出せたのではないかと思います。皆様から御協力いただき大変感謝しております。誠にありがとうございました。

参加者 ゴルフ 十九名

表彰式 二十四名

優勝者 渡辺 潤一郎 君

(井上 航・難波 徹)



◆リフレッシュイベント (ファミリーバーベキュー)

平成三十年六月十七日(日)に、西山自然体験交流施設ゆうぎにてリフレッシュイベントを実施いたしました。

当日は天候にも恵まれ、会員二十名・会員ご家族三十三名(子ども二十三名)と多くの御参加をいただきました。ジャム作り体験や、バーベキューをつまみながら談笑するご家族様など終始見えていました。事前準備の段階で細心の注意を払っていたため、当日は怪我や事故もなく皆様が無事に帰路につけたのが大きな成果だったかと思えます。皆様から御協力いただき感謝しております。誠にありがとうございました。

参加者 会員 二十名

会員ご家族 三十三名

(子ども二十三名)

(門倉 侑大・萩野 浩・荻澤 誠吾)



◆屑鉄集め

平成三十年九月七日(金)に、会員参加者二十九名、屑鉄提供企業四十社にて屑鉄集めを実施いたしました。

会員減少の中、当初懸念しておりましたトラックの確保においては、十一台もの御協力をいただきました。当日は悪天候の中の回収作業となりましたが、事故・怪我等無く無事に作業を完了できたことを大変感謝しております。これもひとえに屑鉄集めに対する御理解・御協力を賜った協力企業の皆様及び、回収作業・トラック提供を行っていただいた会員の皆様のお陰です。誠にありがとうございました。

(門倉 侑大・小沼 啓・萩野 浩)



◆秋季ゴルフコンペ

平成三十年九月二十九日(土)に、長岡カントリー倶楽部にて秋季ゴルフコンペを開催いたしました。



当日は過ごしやすいく候の中、OB会員様十一名、現役会員十八名と多数の皆様から御参加をいただきました。そして、ゴルフ・表彰式を通してOB会員様と和やかに親睦が図れたのではないかと思います。皆様から御参加・御協力いただき感謝しております。誠にありがとうございました。

参加者 ゴルフ 二十九名

表彰式 二十九名

優勝者 池田 一雄 君

(井上 航・難波 徹・荻澤 誠吾)

◆福祉・児童養護施設寄付贈呈式

平成三十年十二月十八日(火)に、福祉・児童養護施設に寄付贈呈式を行って参りました。



柿が丘学園では、子供達と歌や贈呈品の知育玩具、恒例となったソリで遊び、お礼として子供達から手作りの首飾りと色紙を頂きました。もみの木工房つばさでは、所長と施設利用者の代表の方からお礼の言葉を頂き、日頃の作業風景を見学させていただきました。双葉寮では、来年小学校へ通い贈呈品の学習机を使う園児からお礼の言葉を頂き、施設で普段子供達が生活している部屋等を寮長が案内して下さいました。

集めた屑鉄が必要とされる物へと換わり、各施設の方々に喜んでいただけた大変素晴らしい事業ですので、今後も屑鉄集めを継続していただけたらと思います。ご協力ありがとうございました。

(南 聡史)

まつり委員会

委員長 長部 雄右

本年度は、当会といしまして節目の二十五回目の神輿渡御参加となりました。先輩方が築き上げて来られた青研神輿の歴史を、より良い形で後輩たちに繋いでいける様、一年間活動して参りました。活動に際しまして、御卒業生、関係各所の皆様に、多大なる御支援、御協力を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

また、本年度の神輿渡御は、長岡開府四百年や前夜祭から平和祭への名称変更と、様々な節目の年となり、長岡全体としても記念の年となりました。そのような記念すべき年に、当会としても盛大に青研神輿を執り行うべく、本年度は、神輿頭部の提灯照明の改修、神輿各所の再



塗装を行いました。神輿渡御当日には、記録的猛暑の中大変多くの皆様にご参加をいただきまして、百二十名以上の担ぎ手が一体となって大手通を練り歩くことができました。重ねて御礼申し上げます。私といましては、卒業年度にまつり委員長という大役をさせていただきました。経験の少ない私でしたが、会員の仲間たち、先輩方のご協力で、怪我や事故もなく無事に神輿渡御を執り行うことができましたことを心から感謝しております。

今後は、会員の減少等で青研神輿の在り方にも変革の時期が訪れるかもしれません。それでも、今後も素晴らしい青研神輿を続けていける様、変わらぬ協力を宜しくお願いいたします。

渉外委員会

委員長 渡辺潤一郎

今年度のテーマは「発信」でした。まず発信するにあたり、年度前に小林会長と事業内容について検討していく中で同じ想いだっただのが、長岡市内にある大学の学生に「ものづくりの魅力を伝えたい」「今後の協力関係を築きたい」ということでした。そこで以前から交流のあった長岡造形大学の和田学長とプロダクトデザイン学科の三名の教授にお会いし、どのような交流にしていこうかを検討しました。その結果、長岡のものづくり現場に興味を持っている学生が多くいるということが分かり、学生を対象とした会員企業の工場見学ツアーを実施することにしました。七月から開始し、十一月

未まで四回に渡り計八社を見学しました。

二月に開催されたものづくりフェアでも発信に重点を置き、インテリアデザイナーである Sponge (スポンジ) の高坂裕子様に総合プロデュースをお願いし、「いま、金属がおもしろい」と題して、子供から大人まで見て、触れて、感じてもらえるブース内容にさせていただきました。展示品は会員企業から出るスクラップをかつこよく、おしやれにアレンジしてもらい、また金属の比重や硬さ、そして技などを体感してもらうコーナーも設置しました。体感してもらうことでより一層に金属の魅力を伝えることができたのではないかと思います。この場を借りて高坂様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、二つの事業が無事に実施できたのも小林会長を始め池田副会長、中津山副会長、吉原副委員長、渉外委員の皆様、そして会員の皆様のご理解とご協力があったからこそだと思っております。大変感謝しております。一年間、本当にありがとうございました。

◆ファクトリーツアー（工場見学会）

長岡造形大学のプロダクトデザイン学科の学生を対象に四回に渡り計八社の会員企業への見学会を実施しました。

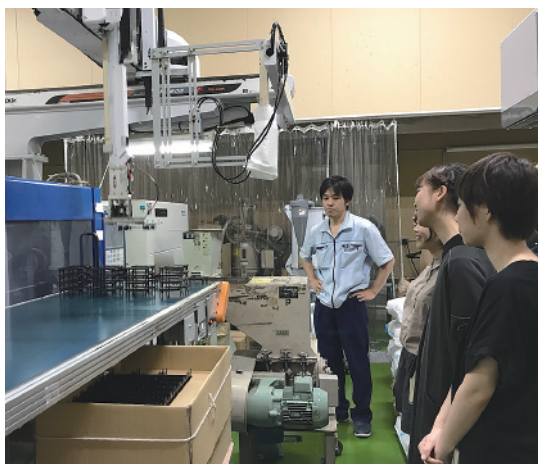
多くの学生は卒業後、長岡を離れてまいります。そこで在学中に少しでも長岡の鉄工業界について知ってもらいたい、見てもらいたいという思いで今回の事業を実施しました。見学中、いくつも質問が出ていたので学生のものづくりに対する関心の高さを改めて実感することが出来ました。また学生には貴重な経験の場

を提供できたのではないかと思います。私自身も会員企業の仕事内容を知ることができ、大変勉強になりました。

来年度以降も見学会を実施するかは分かりませんが、学生との交流を継続していくことで何か新しい発見などにも繋がるのではないかと思います。

今回、工場見学を受け入れてくださった会員企業の皆様には平日のお忙しいところ貴重な時間を割いていただき、誠にありがとうございました。

(渡辺 潤一郎)



◆開府四百年！

長岡ものづくりフェア二〇一九

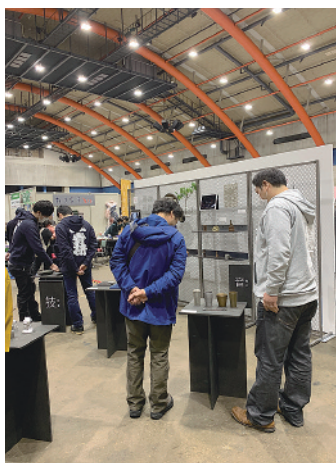
二月九日と十日の二日間に渡りハイブ長岡にて開催された【開府四百年！長岡ものづくりフェア二〇一九】に当会も出展させていただきました。

今回のフェアでは鉄工業界をより多くの来場者に知ってもらうため従来の体験教室ではなく、「いま、金属がおもしろい」

い」をテーマにブースを展開し、普段の作業風景を動画で流したり、スクラップをアレンジした物を展示した形で「ものづくり」をアピールしました。

また、「硬さ」「比重」「音」「表情」「技」と金属の特性を知ってもらうコーナーを設け実際に見て、触れて、感じてもらうことでより一層金属への関心を持っていただけたのではないかと思います。

今回、総合プロデュースをしていただいた Sponge の高坂様、撮影及びスクラップ提供をしていただいた会員企業の皆様に御礼申し上げます。また、設営を



万全な状況で準備してくださった渉外委員会の皆様、当日お客様の対応を行ってくださった会員のスタッフ一同、皆様の協力を得てフェアの成功がなえました。心より感謝申し上げます。また、参加に当たり長岡鉄工業協同組合様よりご支援をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

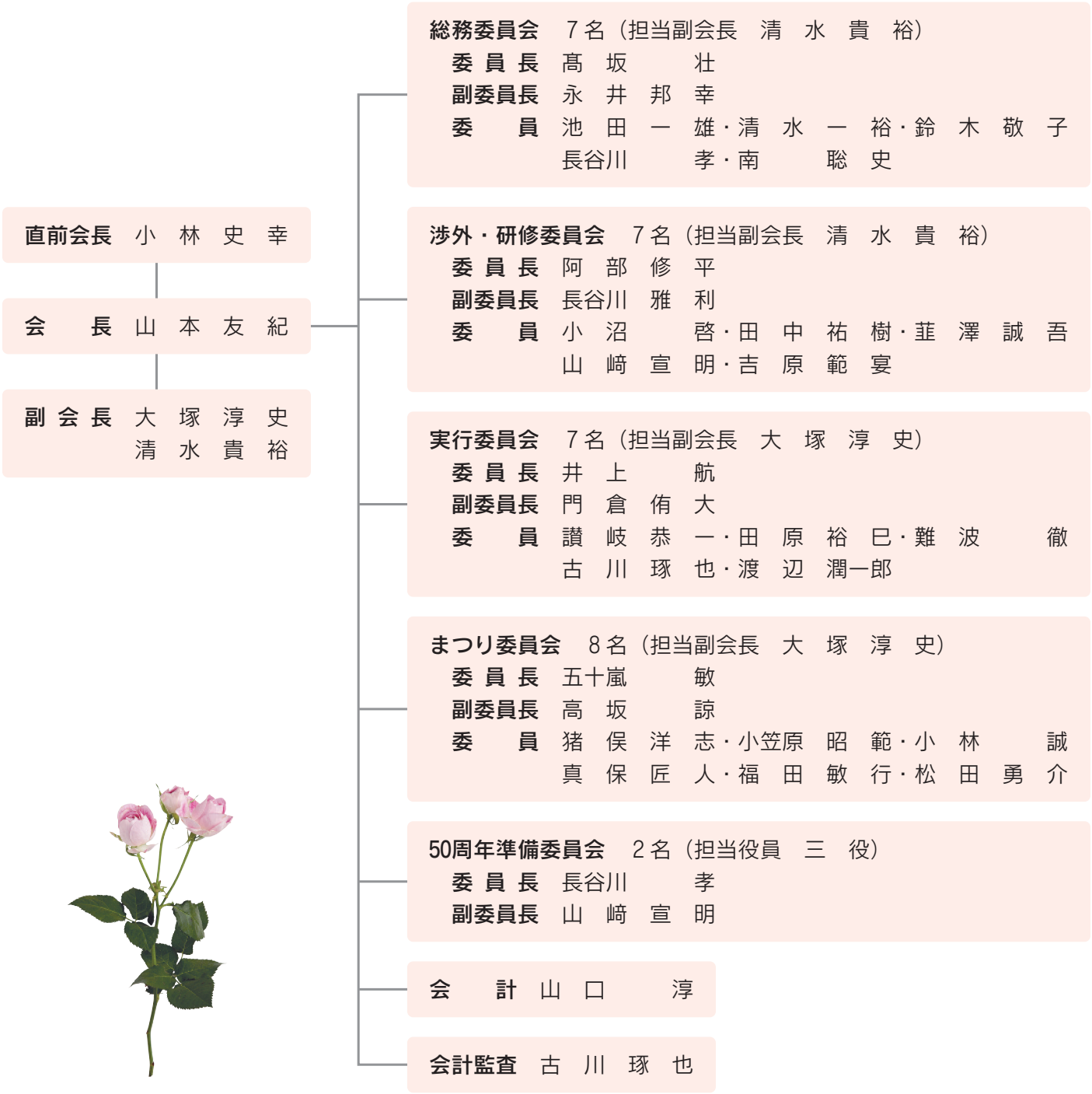
ブース来場者数

一日目	四九〇名
二日目	七六〇名
計	一二五〇名

(吉原 範宴)



2019年度 長岡鉄工業青年研究会組織図



祝 ご卒業

長部 雄右
有限会社 長部鉄工所

大宮 丈範
株式会社 大善

加藤 芳夫
株式会社 ワドー

酒井 孝幸
金徳シヤリング 株式会社

高木 繁樹
株式会社 タカキ

富川 和則
富川表面金属 株式会社

萩野 浩
有限会社 萩野鉄工所

皆川 政男
株式会社 丸菱電子

(以上八名)

新入会員の紹介

平成三十年 四月以降入会

新保 匠人
株式会社 シンワ
〒九四〇一三三二
新潟県長岡市三島新保三二五一三

鈴木 敬子
新潟竹内ハガネ 株式会社
〒九五九一二七七
新潟県燕市物流センター二一九

猪俣 洋志
株式会社 アクセルコーポレーション
〒九四〇一三二八
新潟県長岡市新産東町五〇

讃岐 恭一
株式会社 丸菱電子
〒九四〇一三〇二二
新潟県長岡市鉄工町一〇二二一〇

昭和五十七年三月六日生